

このCTGをどう読むか

お産の現場でCTGは、とても身近なものです。介助しているケースが問題なく進みそうかを確認する拠りどころの1つでしょうし、微妙な波形に医師を呼ぶべきかどうか悩むこともあるでしょう。分娩進行とその介助の多様さを図に表したものがCTGだとも言えそうです。また、CTGはグレーゾーンが広い検査であるため、広い視野で総合的に解釈する能力をもたねばならないと言われます。そこで、今回の特集では、モデル事例のカンファレンスをとおして、そんな臨床のダイナミズムに迫ってみたいと思います。